

春のワークショップ

●せつこっこクラブ5月

「親子で楽しい！不思議な紙であおいろ写真」(担当：安田)

開催日：2025年5月4日(日・祝) 全2回

①10:00—11:30 ②13:30—15:00

定員：各回16名(抽選)

対象：3歳～中学生まで(小学3年生以下は保護者同伴)

参加者数：①子ども9名、大人8名、合計17名

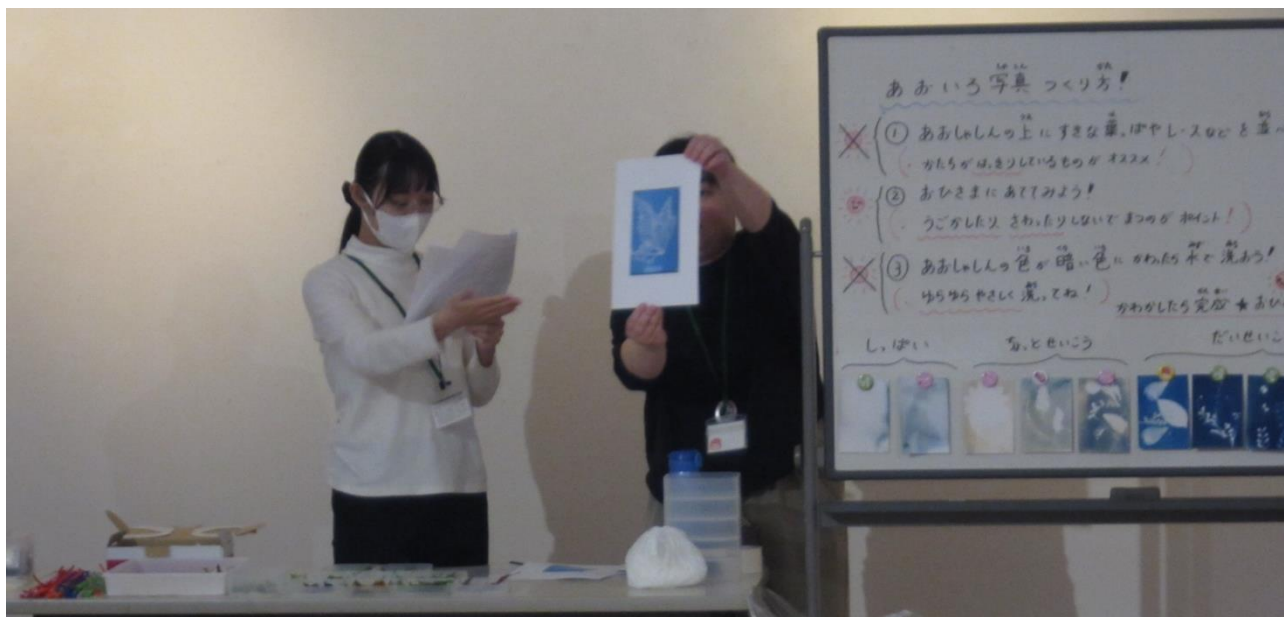
②子ども4名、大人3名、合計7名

のべ 24名

参加費：1人300円

このワークショップではサイアノタイプという光に反応するインクが塗られた紙を使用して、青写真のアートを作りました。

最初に、青写真の歴史や特性について学びます。



女性のほとんどが科学教育を受けられなかった社会で、青写真を用いて世界で初めて「写真の図鑑」を作ったとされるアンナ・アトキンスさんの作品画像を見せながらの解説

青写真がこういったものかが分かったところで、インクが塗られたはがきサイズの画用紙が入っている封筒を参加者に配り、早速1回目の制作を開始します。美術館の周りで取れた植物や、モール、スパンコール等の素材から撮影したいものを参加者自身で前に選びに行きます。撮影したいものを好きな形に整えて配置が決まったら、スライドバー式のファイルに青写真とモチーフを挟んで固定します。



撮影したいモチーフを選ぶ

全員が固定できたら、美術館の外へ出て、太陽にあてます。風が強かったため、石で重しをしました。



撮影中の青写真

太陽に当てている間、参加者にボウルを配り、美術館の雑草を中心とした植物を採取しました。採取した植物の虫や土などは職員と一緒に丁寧に落としました。キッチンペーパーで水気をふき取り、撮影した青写真と一緒に実習展示室へ持ち帰ります。



採取した植物

実習展示室へ戻ったら利き手にビニール手袋をはめて、先程撮影した青写真のインクを水で洗い流します。その後漂白剤の溶けた水でもう一度洗うと、青写真が鮮やかな青色に変化しました。



水で洗う参加者



洗剤の溶けた水で洗うと、鮮やかな青色に

1回目の制作が終わった人から自分で採取した植物を使って、2回目の制作に入りました。最初の反省点を生かして配置します。ファイルに青写真とモチーフを固定したら再び美術館の外へ撮影に行きます。2回目は青写真が薄い黄緑色から濃い緑色になるまでの変化を、美術館や節子さんに関するお話を聞きながらじっくりと観察しました。



撮影が終わったら再び実習展示室で撮影した青写真を洗います。洗い終わった人からドライヤーで作品を乾かして完成です。



完成した青写真

アンケートでは、「水に入れたら青くなってびっくりした」「自宅でも試してみたい」「材料を集めるのが楽しかった」「親子で楽しめました」等の感想をいただきました。